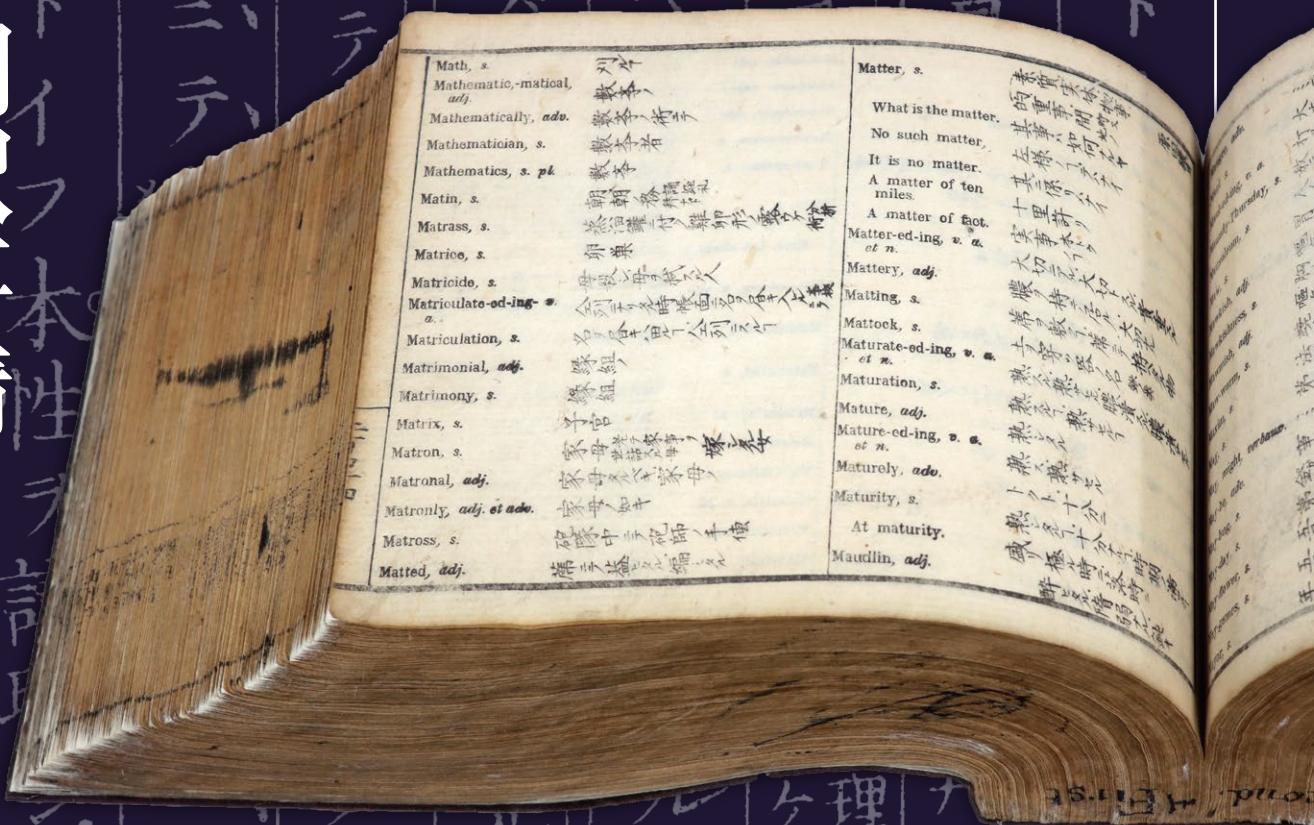


企画展示

知識を 世界に 求めて

明治維新前後の
翻訳事情



会期

令和4年 11月11日(金)~12月9日(金)

10:00~19:00 (土曜日は18:00まで) ※日曜日、祝日、11月16日(水・資料整理休館日)を除く

会場

国立国会図書館東京本館 新館1階展示室

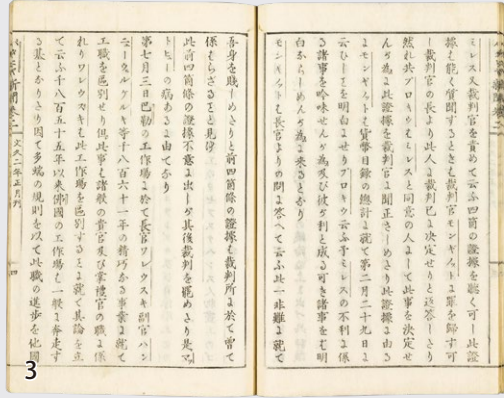
入場
無料

※開催状況に変更がある場合は、国立国会図書館ホームページ、公式Twitter、Facebook 等でお知らせします。
<https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/exhibition2022.html>



知識を 世界に 求めて

明治維新前後の
翻訳事情



1 解體新書 4巻序圖1巻 キュルムス 著, 前野良沢訳, 杉田玄白翼 訳 安永3(1774)年 2 De beschryving van Japan Kaempfer, Engelbert 1729
3 バタヒヤ新聞 巻11 蕃書調所 編訳 文久2(1862)年 4 西洋事情 初編巻之1 福沢諭吉纂 明治3(1870)~5(1872)年 5 Chambers's information
for the people edited by William and Robert Chambers 18XX 6 動物進化論 エトワルト・モールス 著, 石川千代松訳 明治16(1883)年 7 小公子
パアネット 著, 若松殿子(若本嘉志子) 訳 明治24(1891)年 8 魯敏孫漂流記: 絶世奇談 ツーフナー 著, 井上勤 訳 明治16(1883)年
(表面) 英和對譯袖珍辭書 Hori Tatsnoskay 編 慶応3(1867)年 (表面背景) 自由之理 第1冊 弥爾 著, 中村敬太郎 訳 明治5(1872)年

展示概要

江戸時代の後期から、明治20年代頃までを中心に、原書・
翻訳書を合わせて、200点以上の資料をご覧いただけます。
入場は無料でどなたでもご覧いただけます。

- 第1章 オランダを通して世界をのぞく
- 第2章 開国期における西洋知識の移入
- 第3章 西洋知識の受容と近代化
- 第4章 翻訳文学の歩み

関連講演会

11月12日(土) 13:30 ~ 15:00

「翻訳学の視座から読む明治の文学翻訳者の言説
—なぜ、いかにして訳すのか—」
講師: 齊藤 美野 氏 (順天堂大学国際教養学部 准教授)

※オンラインでの開催です。申込み方法等については、
国立国会図書館ホームページをご覧ください。



国立国会図書館 東京本館



〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

- *公共の交通機関をご利用ください。
- 《東京メトロ》
- (A) 有楽町線「永田町駅」2番出口徒歩5分
- (B) 半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩8分
- (C) 千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」1番出口徒歩12分
《都営バス》
- (D) 橋63系統「国会議事堂前」バス停下車徒歩5分
- ※展示会場は入退館ゲートの外にあります。展示観覧のみの
場合は、図書館の入館手続きは不要です。
- ※入館して図書館資料をご利用中の場合は、返却のうえご
来場ください。

問合せ先

国立国会図書館 利用者サービス部 サービス企画課 展示企画係
03-3506-5260(直通) tenjik-info@ndl.go.jp



Twitter >> @NDLJP (国立国会図書館 NDL)



Facebook >> @NDLexhibition
(国立国会図書館の展示 (東京・関西))